

水俣市地域公共交通計画（素案）についてのパブリック・コメント

実施結果及び市の考え方について

「水俣市地域公共交通計画（素案）」について、市民の皆さまからの御意見等を募集しましたが、寄せられました御意見等とこれらに対する市の考え方を下記のとおり掲載いたします。御意見をお寄せいただきありがとうございました。

記

1 募集期間

令和7年1月15日（水）～令和7年1月31日（金）

2 閲覧場所

- | | | | |
|--------------|------------------|---------------|------------|
| ①市役所1階階段前 | ②市役所3階行政資料閲覧コーナー | ③もやい館1階保健センター | ④もやい館2階受付前 |
| ⑤総合体育館 | ⑥総合医療センター | ⑦市立図書館 | ⑧こどもセンター |
| ⑨ふれあいセンター | ⑩水俣病資料館 | ⑪おれんじ館 | ⑫愛林館 |
| ⑬湯の鶴温泉保健センター | ⑭市ホームページ | | |

3 御意見等総数（意見等提出者数）

提 出	2 件（2 人）
郵 送	0 件（0 人）
F A X	0 件（0 人）
E メール	1 件（1 人）
計	3 件（3 人）

4 御意見等の取り扱い

意見等を踏まえ、素案を修正・追加補足するもの	1 件
今後の取組の参考とするもの	2 件
上記のどちらでもないもの	0 件

1 パブリック・コメント意見等に係る市の考え方

No	ページと項目名	意見等の概要	市の考え方
1	【ページ】 25ページ、60ページ 【項目】 3-8 本市の公共交通の改善ニーズ 事業3 みなくるバスの維持・効率化	まちの中心部（エムズ周辺）にバスセンターを設け、放射線状に各地域へピストン運行をしたほうが良いと考える。 また、路線によって運行距離が長くなっているため、ドライバー負担の観点から見直しが必要ではないかと考える。	みなくるバス及び路線バスの運行効率化のため、路線の見直しが必要であると考えております。 また、ドライバーの確保が非常に厳しくなっている現状を踏まえ、労働環境の改善も重要な視点であると考えております。ご意見にある運行方法も参考にしながら、路線の見直しを進めてまいります。
2	【ページ】 38ページ、41ページ 【項目】 4-4 持続可能な公共交通サービスを提供するための収支の改善 目標2 利用者1人当たりの公的資金投入額	高齢化率40%超の水俣市では、交通弱者の増加が予想されるが、路線バスやみなくるバスの財政負担が毎年増加しており、現状のままではサービスの大幅な改悪を招きかねない。 新たな仕組み・システムには抵抗があるかもしれないが、将来的には新技術が主流になっていくと考える。 財政負担は数量的なインパクトがあるため、これ以上財政負担が増えないよう、定量的な目標値を堅持しながら、今回の計画案で示されたデマンド化などの新たなシステムを活用するなど、運行の効率化を図って頂きたい。	高齢化が進む中で、交通弱者への対応は重要な課題であると認識しております。一方で、路線バスやみなくるバスの財政負担が年々増加していることから、持続可能な公共交通の実現に向けて、交通体系の見直しを進めていく必要があります。 新たな仕組みやシステムの導入には一定の課題もありますが、将来的には新技術の活用が不可欠と考えており、デマンド交通をはじめとする新たな交通システムを導入し、運行の効率化を進めてまいります。

3	【ページ】 63 ページ、67 ページ 【項目】 事業5 交通拠点での乗り継ぎ強化 事業8 市民と連携した公共交通の利用 促進事業の展開	○交通拠点での乗り継ぎ強化 新水俣駅で導入しているカーシェアサービスについて、水俣駅にも導入することで、2次交通の課題解消につながると考える。	2次交通の課題解消に向けた取組は重要であると認識しております。いただいたご意見を踏まえ、カーシェアサービスを提供している事業者と協議を実施したいと考えており、取組事業として計画への反映も検討いたします。
		○市民と連携した公共交通の利用促進事業の展開 公共交通の利用をより活発にするためには、市民の移動のきっかけを創出する取組が必要であり、公共交通利用者の中心である学生（高校生）らと連携した企画も重要と考える。	公共交通利用者の中心である学生（高校生）らと連携して、移動目的を創出するための特集記事を作成し、市内外へ情報発信することを検討しております。本取組については、計画へ反映したいと考えております。